




多文化共生論

第01講： ガイダンス

2019年4月09日



本講のテーマ

- この講義の概要と目的、各回の授業内容は？
- 評価方法は？
- グローバリゼーションとは？




授業の概要

- グローバリゼーションとは、ヒト・モノ・カネ・情報が地域や国境を越えて自由に往来する現象を指す。そのため地域社会にとっては、以前は異質とされたものが次々と流入する現象としてとらえることができる。例えば日本では、外国人観光客が急増し「爆買い」によって国内消費が伸びる一方で、難民受け入れには消極的であるなど、多くの課題に直面している。



授業の概要

- 本科目は、グローバル化が進む現代において、地域社会における多様な文化・民族の人びとが共生することについて検討する。具体例として、多文化・多民族国家であるマレーシアの事例、およびわれわれが暮らす日本の事例を取り扱う。
- 本科目を「自分たち」とは異なる人びとの文化の様相と、そうした人びとと共に暮らすことを考える上でのきっかけとしてほしい。



到達基準

- (1) 多文化共生論に関する基礎概念を正しく理解し、説明できるようになる。
 - 第1部 「基礎概念」

- (2) マレーシアと日本の事例を通じて、多文化共生社会のあり方と実現に向けての課題を理解し、説明できるようになる。
 - 第2部 「マレーシアの事例」
 - 第3部 「日本の事例」



授業内容

- 第1部 基本概念（1～5講）
 - 多文化共生社会に関する基本的な概念
 - 類似の概念：多文化共生社会、国際社会、グローバル社会
 - 人口問題


- 第2部 マレーシアの事例（6～10講）
 - 多文化共生社会の事例①
 - 第二次大戦後に独立した多文化・多民族国家でありながら、大規模な民族衝突・内戦を回避してきた国
 - イスラームに根差した商品・サービスを扱う産業：ハラール食品
 - 多文化共生の視点から議論



授業内容

- 第3部 日本の事例（11～15講）
 - 日本：多文化共生社会の事例②
 - 外国人労働者・観光客に関する諸課題
 - 日本企業による海外進出
 - これらを通じて、日本(人)にとっての多文化共生社会のあり方を検討

- 期末テスト




第01講 (4月09日)

- 第1部 【基本概念】

- テーマ: 「ガイダンス」

- ❖ この講義の概要と目的、各回の授業内容は？
- ❖ 評価方法は？
- ❖ グローバリゼーションとは？



第02講 (4月16日)

- 第1部 【基本概念】

- テーマ：「多文化共生社会の基本概念」

- ❖ 多文化共生とは何か？

- ❖ 文化と民族とは何か？

- ❖ 国家とコミュニティーとは何か？



第03講 (4月23日)

- 第1部 【基本概念】

- テーマ：「国際社会、グローバル社会、多文化共生社会」

- ❖ 国際社会とは何か？

- ❖ グローバリゼーション、グローバル社会とは何か？

- ❖ これらと多文化共生社会とはどう違うのか？



第04講 (5月07日)

- 第1部 【基本概念】

- テーマ: 「ビデオ上映: 日本とハラール産業」

- ❖ ハラール食品に関するテレビ番組の視聴

- ❖ 2014年1月20日(月) テレビ東京「未来世紀ジパング」

- ❖ GW中につき全員出席扱い



第05講 (5月14日)

- 第1部 【基本概念】

- テーマ: 「世界の人口問題」

- ❖ 世界の人口動向は？

- ❖ 人口問題とは？

- ❖ 日本が直面する人口問題とは？



第06講 (5月21日)

- 第2部 【マレーシアの事例】
 - テーマ：「多民族国家マレーシア」
 - ❖ マレーシアの民族構成は？
 - ❖ マレーシアの国民統合とは？
 - ❖ マレーシアに暮らす人々の日常生活は？



第07講 (5月28日)

- 第2部 【マレーシアの事例】

- テーマ: 「イスラームの考え方」

- ❖ イスラームとは？


- ❖ 六信五行とは？

- ❖ クルアーン、ハディースには何が書かれているか？



第08講 (6月04日)

- 第2部 【マレーシアの事例】
 - テーマ: 「ハラール食品(1) イスラームと食」
 - ❖ 文化・宗教における食のタブーとは？
 - ❖ イスラームに基づく食とは？
 - ❖ ハラール認証とは？




第09講 (6月11日)

- 第2部 【マレーシアの事例】
 - テーマ: 「ハラール食品(2) ハラール認証制度」
 - ❖ ハラール食品産業とは、どのようなものか？
 - ❖ ハラール認証の仕組みはどうなっているか？
 - ❖ ハラール認証の基準はどのようなものか？



第10講 (6月18日)

- 第2部 【マレーシアの事例】
 - テーマ: 「ハラール食品(3) ハラール食品市場」
 - ❖ マレーシア以外のハラール認証は？
 - ❖ 違いはなぜ生まれるのか？
 - ❖ ハラール食品市場の現状は？




第11講 (6月25日)

- 第3部 【日本の事例】


- テーマ: 「外国人労働者」

- ❖ 日本にやってくる外国人労働者の特徴は？
- ❖ 外国人労働者の歴史変化は？
- ❖ 外国人労働者をめぐる日本側の課題は？



第12講 (7月02日)

- 第3部 【日本の事例】
 - テーマ：「外国人観光客」
 - ❖ 日本の観光政策とは？
 - ❖ 外国人によるインバウンド観光とは？
 - ❖ 国別の傾向は？



第13講 (7月09日)


- 第3部 【日本の事例】

- テーマ: 「訪日外国人ムスリム観光客の動向」

- ❖ ムスリムにとっての聖地巡礼とは？

- ❖ ムスリムにとっての観光とは？

- ❖ ムスリムにとっての日本観光は？




第14講 (7月16日)

- 第3部 【日本の事例】

- テーマ：「訪日外国人ムスリム観光客への対応」

- ❖ 外国人ムスリム観光客対応とは？
- ❖ 業種別のムスリム観光客対応とは？
- ❖ 観光地のムスリム観光客対応とは？



第15講 (7月23日)

- 第3部 【日本の事例】

- テーマ: 「日本企業の海外進出」

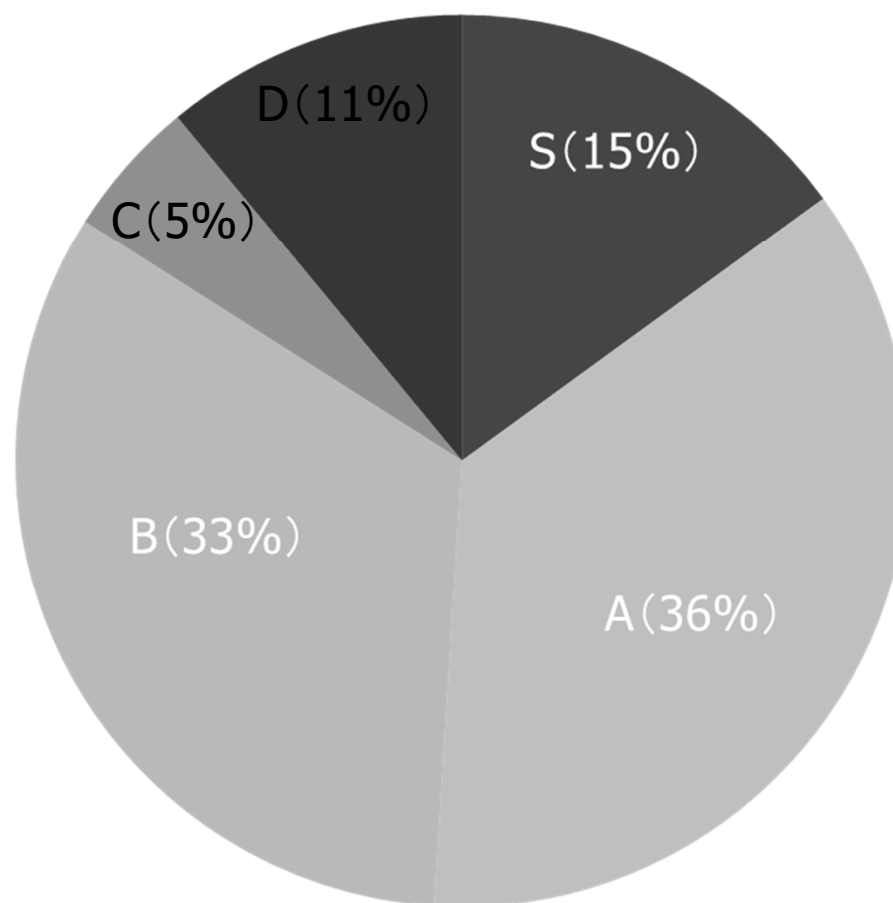
- ❖ 日系企業の海外進出の注意点は？
- ❖ カントリー・リスクとは？
- ❖ 日本が巻き込まれた事例は？

成績評価の方法

- 以下の2点に基づき評価する
 - クラス・パーティシペーション（30点）
 - ❖ 毎授業時に出席カードを配布（配布時間：授業前～9:00）
 - ❖ 授業終了時にクイズを2問出題。1問につき1点。計30問・30点
 - ❖ 20点に満たない場合、テストの点数にかかわらず「不可(D)」とする
 - 期末テスト（70点）
 - ❖ 試験日：前学期調整期間中（7/29～8/2）
 - ❖ 選択式（20点）+論述式（50点）
 - ❖ 持ち込み可：配布資料、自作ノート
 - ❖ 持ち込み不可：参考文献、携帯電話、パソコン、タブレット端末、辞書

成績評価の方法

2018年度の成績分布



- S (100-90点)
- A (89-80点)
- B (79-70点)
- C (69-60点)
- D (59-0点)

テキスト・教科書、参考書等

- テキスト・教科書

- なし。毎授業時に配布資料を配布する
- 同一内容のものを、PDF形式で授業用ウェブサイト(fc2とMoodle)に事前に上げてくので、予習や欠席時に活用すること

- 参考書（生協には入れていませんが...）

- 福島康博『Q&A ハラールを知る101問』解放出版社
- 中村廣治郎『イスラム教入門』岩波書店
- 床呂・西井・福島編『東南アジアのイスラーム』東京外国語大学出版会
- 大塚・小杉・小松他編『岩波イスラーム辞典』岩波書店

テキスト・教科書、参考書等

- 授業関連ウェブサイト

- URL

- ❖ 授業用 <http://islamandeconomy.web.fc2.com>
- ❖ Moodle <https://lms-2.tuat.ac.jp/moodle/login/index.php>
- ❖ 現在は授業用を使用 → 今月末までにMoodleに移行します

- 行うこと

- ❖ 配布資料の配布
- ❖ クイズの答え合わせ
- ❖ (緊急の)アナウンス: 休講・補講、試験情報など
- ❖ 発信主義に基づき、サイトに情報を掲載した時点で「情報が受講者に伝わった」とみなす ← 「サイトを見てないから知らなかった」は認めない

履修条件・関連項目、一言

- 履修条件・関連項目

- なし
- マレーシアをはじめ東南アジアなど海外の事例を取り扱うが、履修者には英語やマレーシア語など外国語の運用能力は問わないので、安心して履修してほしい


- 一言

- 本授業は、「民族、文化」「国家、コミュニティー」「共生」「イスラーム、宗教」「マレーシア、東南アジア」など、学生にとってはあまり馴染みのないテーマを扱う
- 専門的知識がなくても理解できるよう心掛けるので、関心のある積極的な学生の履修を歓迎する



イスラームとTVCM

商品・サービスに反映される
イスラームのコト消費



イスラームとTVCM

- コト消費


- モノ消費とコト消費

- ❖ モノ消費： 所有することによって得られる価値・満足感を重視する消費

- ❖ コト消費： 使用することで得られる価値・満足感を重視する消費。商品やサービスを購入したことで得られる体験に価値を見出す消費傾向

- ムスリム： 商品やサービスの消費・使用を通じてイスラームの価値を実践

- ラマダーン月の断食： イスラーム意識の高まり




イスラームとTVCM

- テレビCMにみる商品・サービスとイスラームとの関連づけの事例
 - ラマダーン月の断食： イスラームに結び付けたマーケティング、CM作り

 - 東南アジアの4本のCMの事例
 - ❖ 飲料： インドネシアの大塚製薬
 - ❖ ファスト・フード： マレーシアのKFC
 - ❖ 家電製品： マレーシアのLG電子
 - ❖ 自動車： マレーシアのトヨタ


イスラームとTVCM

- CM(1): 日本にはないスポーツ飲料の飲み方
 - どの国の何のCMか?: 大塚製薬、インドネシア、2010年のラマダーン月
 - どう利用されているか?; 12時間にわたる断食が終わった後、速やかに水分・栄養分を補給する
 - 表現されているイスラームの価値観は何か?
 - ❖ 親が子供に買い与える飲み物→ 親子関係の重要性
 - ❖ 「断食＝宗教」と「ポカリ・スウェット＝科学的知見に基づく飲料」が両立



イスラームとTVCM

- CM(2): 断食月にファスト・フードを食べる意味
 - どの国の何のCMか?: ケンタッキー・フライド・チキン、マレーシア、2008年のラマダーン月
 - どう利用されているか?: 子供が自分の小遣いでフライドチンを購入、家族みんなで食べる
 - 表現されているイスラームの価値観は何か?
 - ❖ 断食明けは、新しい服で迎えたい
 - ❖ 断食後の家族で食事。自分は家族のために何ができるのか、という意識




イスラームとTVCM

- CM(3): 物質文明とイスラームに矛盾はあるのか
 - どの国の何のCMか?: LG電子、マレーシア、2010年のラマダーン月
 - どう利用されているか?: 最新家電に囲まれた生活、快適で飲食物に囲まれた生活 ⇔ 断食実践の妨げ? 「食べたい」欲望との対峙
 - 表現されているイスラームの価値観は何か?
 - ❖ 近代化・物質文明化してもなお、現代において意味をなすイスラーム
 - ❖ 物質文明化とイスラームの実践の両立は可能

イスラームとTVCM

- CM(4): イスラームが流行ると自動車が売れる
 - どの国の何のCMか?: トヨタ、マレーシア、2011年のラマダーン月
 - どう利用されているか?: 都会で働いているムスリムが購入、断食明けの休暇期間に新車で帰省
 - 表現されているイスラームの価値観は何か?
 - ❖ ラマダーン月終了後に休暇期間 → 田舎に帰省、親族と共に過ごす
 - ❖ 断食の実践、家族の絆 ⇔ 都市化 → 自動車購入による帰省で解消



イスラームとTVCM

- ラマダーン月の断食とムスリムの価値、これらを実現する商品・サービス
 - ラマダーン月の断食に伴う価値観とそれを実現する商品・サービス
 - ❖ 断食明けの食事が大切 → 栄養分を補給しやすい食料品
 - ❖ 食事は家族・親族と一緒に → 食料品
 - ❖ 新しい服で断食明けを → 衣服
 - ❖ 日常生活 → 家電製品
 - ❖ 断食明けの休暇は実家に里帰り → 自動車